

## 人事案件

○人権擁護委員に山口氏  
任期満了に伴う人権擁護委員に山口幸子氏(65)を任命する案に全会一致で同意した。山口氏は、この度の任命で4期目となる。

山口氏談「身近な人権問題と啓発活動に微力ながらお手伝いできればと思います。」



## 傍聴席

難波 嶺子(生保内)

最近何かと話題が多い仙北市、思い切って友達と議会を傍聴することになりました。

誰もいなければ辱しいなと思っていたが、その数の多さにびっくり。

テレビカメラも数台、国会中継を見ているような気がしました。

初めて聞く話ばかり、確定申告書の偽造なんて本当に行ける話でしょうか。

よく聞きとれなかったが、3年間で町県民税2,500万円職員が不正した

という。

木質バイオマス発電は市の軽率さを責められていましたが、私には問題が大きすぎてわかりません。

子育て支援と保育では待機児童を無くしてほしいと思います。

私達婦人部は市内の保育所を訪問しています。楽しい洗濯機を見たり、心豊かになるような仙北市にして下さい。

## 控室

3月11日、平成23年度当初予算の委員会審査の審議中に震災は突然発生した。

一般質問では22年度より稼働した「バイオマス

## いま私たちは試されている

正確な情報でなければ判断を誤る危険がある。

科学的粋を集めた原子力発電所が震災の被害ばかりか、今や加害者になってしまっている。

安全は神話より偶像化してしまった。

岩手県大槌町で見た光景は信じられない光景であったが、被災者の皆さんは強く、優しく、力を

仙北市も交通機関の停止等での観光客の激減、経済の停滞で二次被害の状況であり、大変な23年度であることは間違いなし。

この震災をきっかけに、すべてのものが見直される機会になりつつある。

いま、この状況の克服に対する議会の取り組み、姿勢も試されている。

(荒木田 記)

## 編集後記

この度の大震災で亡くなられた方に心から哀悼の意を捧げたいと思う。

議員の方々も被災地に市民から預った物資を届けるため現地にかけてくれた。

議員達は、一様にテレビで見ると現地とはその悲惨さがまるで違うと話している。しかし、救われることは、あの様な未曾有の大震災に遭いながらお互いに助け合い、困難に立ち向かう姿に、本当に感動し、東北の人々の底力を見せつけられた感じがしたと話している。

議会議報委員会では、このように震災に遭われた方々が頑張っている時に議会だよりの表紙が例年のように桜でいいのかという話し合いになった。

大方の意見は、支援する私達仙北市も風評被害で観光客が激減し、元気を無くしつつある。

支援する私達が元気にならなければ支援活動も長続きしない。その為にはむしろ桜を前面に押し出し、全国的に有名な角館の桜を復興の旗印・復興の光となる桜と

位置づけることを確認しあった。

従って今年の桜は、例年とは違う、特別な意味合いを持つ桜であり、議会だよりの表紙にも使わせてもらうことにした。

いざさか私が見入るが角館の枝垂桜の中是非107番の老木の桜を紹介したい。

この桜は、樹皮一枚でも四本の「つつかえ棒」に支えられながら毎年精一杯の桜を見せてくれる。「あと頑張らなくてもいいよ」と思わず声をかけたくなる桜である。

この桜をみると、どうしても今復興で頑張っている老人パワーと重なりあう。津波で流された息子の為に老体に鞭打って孫の為に頑張らねばと決意している方もいるかも知れない。この107番の枝垂桜はどうしてもこうした老人パワーと重なりあう。

(狐崎 記)

